

うみぎょう 第2回愛南町海業推進会議を開催しました！

9月20日(水)、役場本庁で第2回海業推進会議を開催しました。

会議は2部構成で開催され、第1部では第1回海業推進会議の振り返りが行われたほか、株式会社価値総合研究所による「海業振興による地域活性化の方向性・可能性」に関する分析等が説明されました。

価値総合研究所による分析では、「町内で所得(利益)が循環する構造が構成されていない」「町の外から多くを調達しているため、所得が町外に流出しがちである」等の問題点が指摘されつつも、町の強みである



「海」による産業を最大限に活用して町内で取引を活発化させることで、地域所得が向上していく可能性があることが説明されました。

第2部では5組に分かれたグループワークが行われました。参加者は、第1回会議で挙げた「愛南町海業SDGsの実現」、「各施設・アクティビティ同士のネットワーク構築」、「気軽な海体験の提供」、「観光ガイドの育成と交流促進に向けた取り組み」といったテーマについて、各々が自由な発想で活発に意見を出し合っていました。

「未来の愛南」絵画・作文コンテストの結果をお知らせします

【「未来の愛南」絵画・作文コンテストとは?】

今年の夏休み、町内の小学校4年生から中学生3年生を対象に、10年後、20年後の海や漁村を舞台にした未来の「こうなってほしい」や「こうしたい」「楽しい」といったイメージを募集しました。

応募された絵画46点、作文22点の作品を海業推進会議の委員にご覧いただき、投票してもらいました。

審査のポイントは「『未来の愛南町』について、豊かな発想に基づいて表現されていること」です。多くの票が集まった皆さんを、次のとおり大賞に決定しました。

【絵画コンテスト大賞】 久良小学校6年

【作文コンテスト大賞】 小学生の部 福浦小学校6年

中学生の部 御荘中学校3年

中学生の部 御荘中学校2年

「未来の愛南町」

「未来の海」

「愛南の産業がずっと続きますように」



たくさんの作品応募、ありがとうございました！

▲大賞となった絵画作品

※「海業」は、「海や漁村の魅力と地域資源を活用して水産物の消費拡大と所得向上を図る事業」を総称した言葉です。水産課海業推進室では、ぎょしょく教育や水産物販売促進、魚類真珠養殖支援、漁場保全など、これまでの水産振興の取り組みに加えて、漁家民宿や体験観光、マリレジャー等々、漁業・水産業にとどまらない海に関連した取り組みを応援します。



愛南町
ホーム
ページ